

ミカ
聖徒伝 158

「救いと裁きは メシアにある」

ミカ書 3～5章

イスラエルの罪とメシア預言

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. イスラエルの罪と裁き 3章

II. 大患難時代と神の国 4章

III. 救いの約束 5章

IV. まとめと適用

人と世に期待せず

ただ主に希望を置こう



ベツレヘム



【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル
王国時代
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

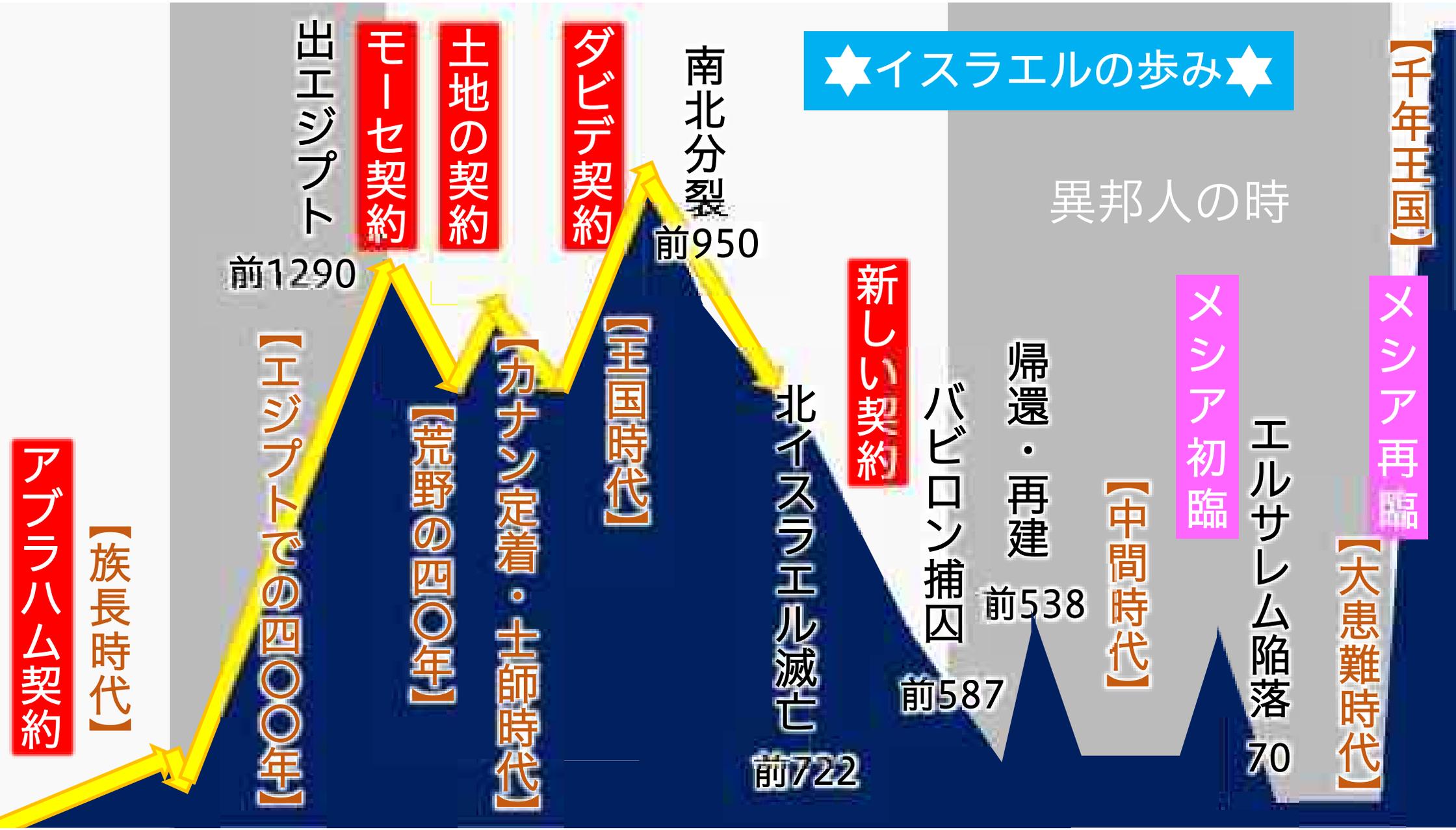
神の約束こそが
その時代の守り

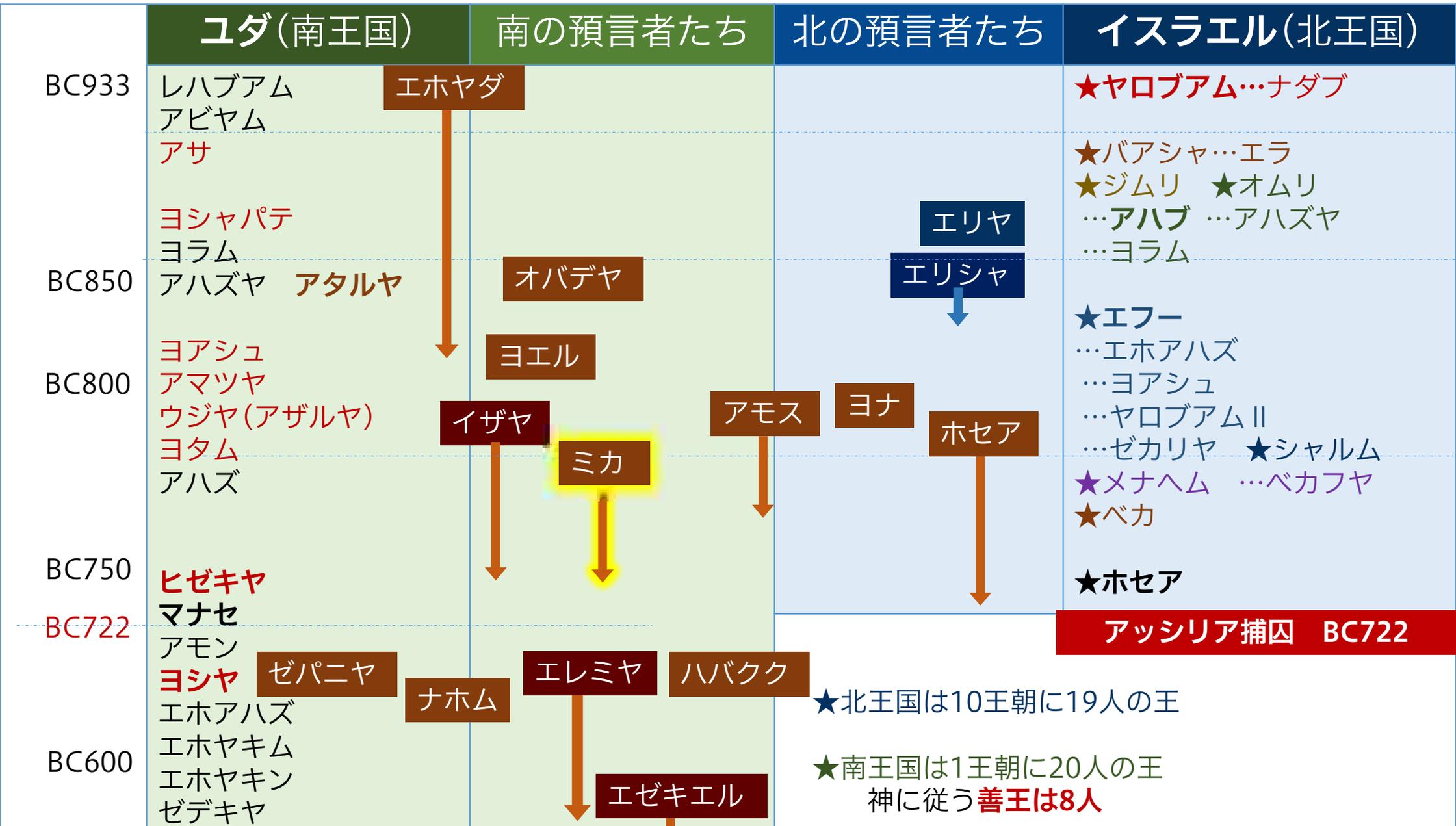
過去

現在

未来

★イスラエルの歩み★





北王国
イスラエル

南王国
ユダ

ホセア

アモス

ベカ

20年

ホセア

9年

混沌の時代

アッシリア捕囚①

アッシリア捕囚②

ヤロブアムⅡ

41年

ゼカリヤ

6ヶ月

シャルル

1ヶ月

メナヘム

10年

ベカフヤ

2年

滅亡の時代

南北時代の最盛期

ヨナ

29年

アマツヤ ♡

ウジヤ ♡

52年

ヨタム ♡

16年

アハズ ☠

16年

ヒゼキヤ ♡

29年

ミカ

イザヤ

預言者ミカとは？

- 北王国に捕囚の滅亡が迫る時代の**南王国**で活躍。同世代のイザヤは都会人、ミカは地方出身。
- 出身は**モレシエテ・ガテ**（ガテの所有物）ペリシテとの境界の町（ガテはペリシテの都市）善王の時代には、ユダに。
悪王の時代には、ペリシテに。
→ 王国の信仰の状況に常に左右された。
- 北王国の滅亡、南王国への**神の裁き**を告げた。「避けられない神のきよめの裁きが来る」と。



【預言者視点で見る預言書は、こんな感じ？ 実際は？】



【預言者たちの告げたこと】



南北時代

➡ ① 直近の
苦難

メシア初臨

➡ ② 主の日
大患難時代

➡ ③ 回復
メシア再臨

天上の礼拝

大患難時代



14万4千人による世界宣教



ユダヤ人大迫害



御国の時代

教会時代



携拳

封印の
裁き

ラッパの
裁き

鉢の裁き

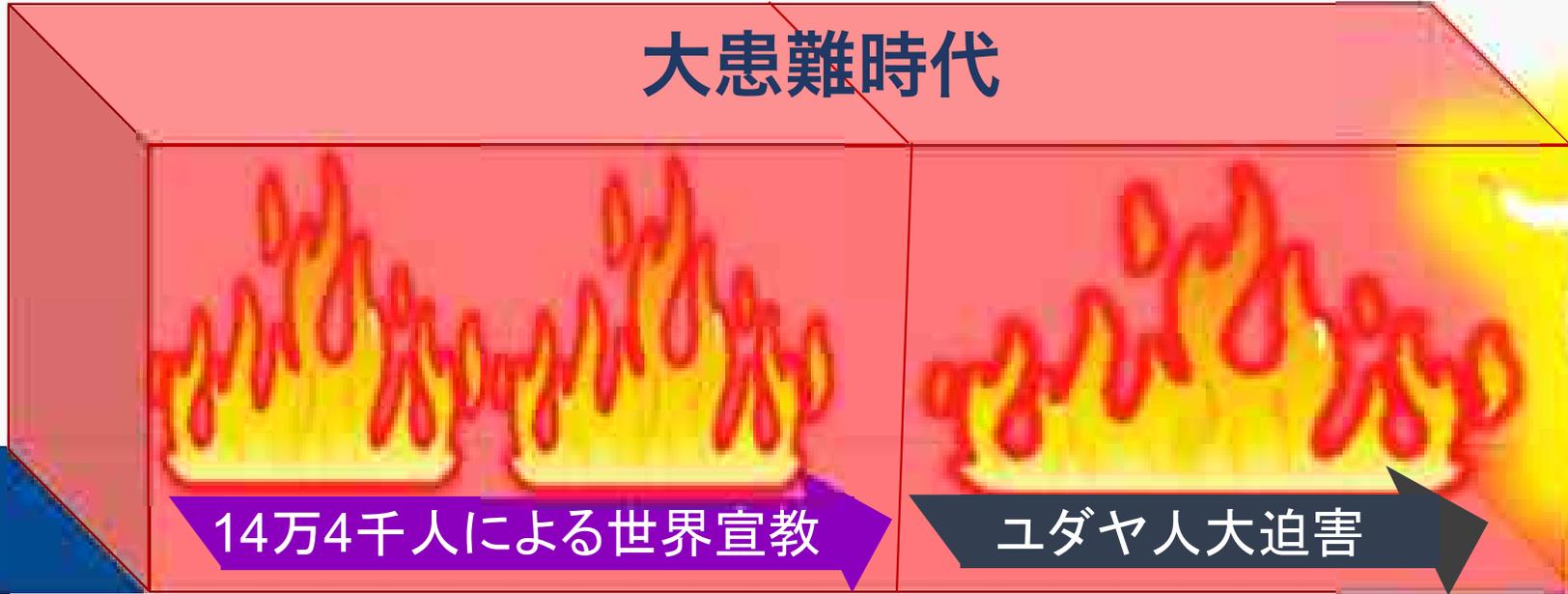
イスラエルの
民族的回心

メシア再臨

天上の礼拝



大患難時代



14万4千人による世界宣教

ユダヤ人大迫害



御心の時代

教会時代

携挙

封印の
裁き

ラッパの
裁き

鉢の裁き

メシア再臨
イスラエルの
民族的回心

大患難時代 逃れの地 ミカ2:12

ヤコブよ。わたしは、あなたを必ずみな集め、
イスラエルの残りの者*を必ず呼び集める。
わたしは彼らを、囲いの中*の羊のように、
牧場の中の群れのように、一つに集める。
こうして、人々のざわめきが起こる。

■大患難時代後半、迫害を生き延びた

イスラエル*は、ボツラ(現ペトラ)*に逃れ、
主によって、反キリストから守られる。



大患難時代 再臨のメシア ミカ2:13

打ち破る者*は彼らの先頭に立って上って行く。
彼らは門*を打ち破って進み、そこを出て行く。
彼らの王*が彼らの前を、【主】*が彼らの先頭を進む。」

- 王であり神である再臨の主イエス*が、
反キリストの軍勢*を打ち破り、
千年王国の都エルサレムに凱旋される。





Ⅰ. イスラエルの罪と裁き

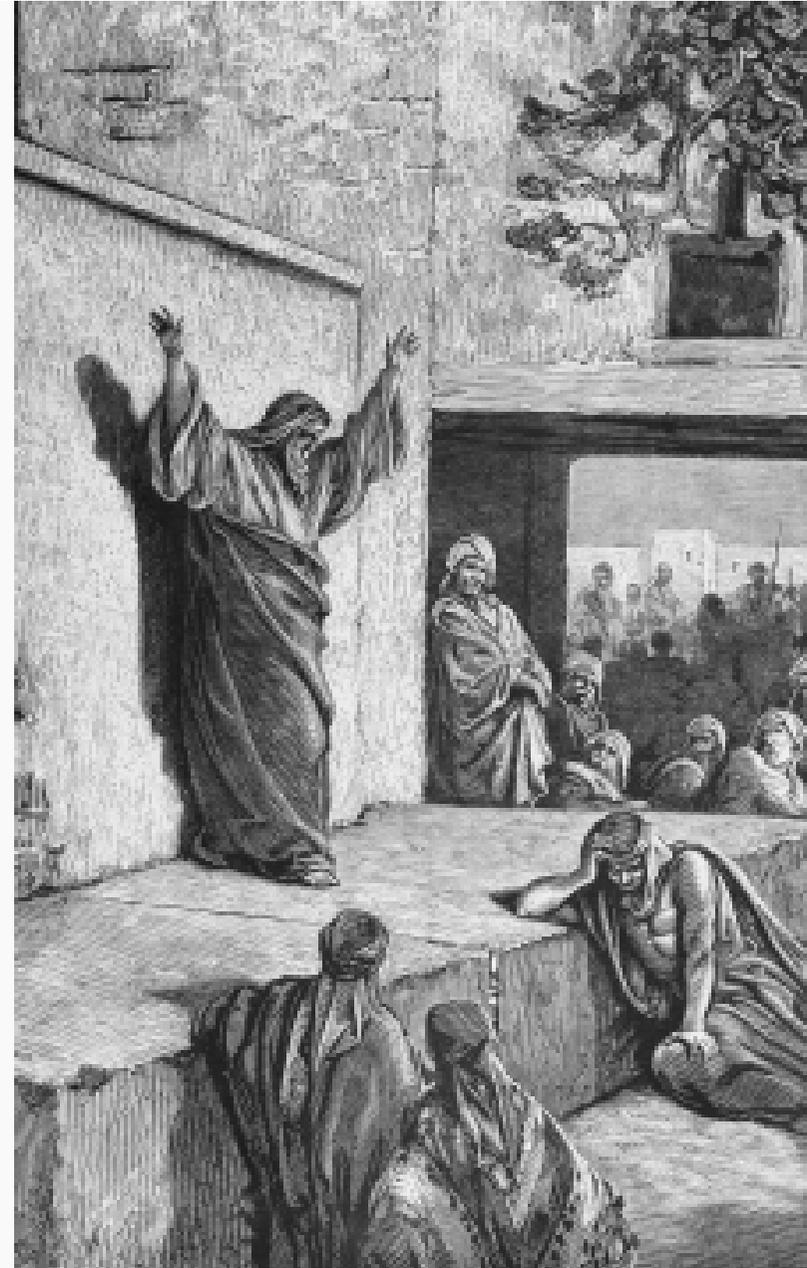
ミカ書 3 章

ベツレヘムの夕景

罪状書き 指導者の責任 ミカ3:1

私は言った。「聞け。ヤコブのかしらたち、イスラエルの家の首領たち。あなたがたは公正*を知っているはずではないか。」

*律法に基づく公正



罪状書き 指導者の罪 ミカ3:2~3

「あなたがたは善を憎んで悪を愛し、人々の皮をはぎ、その骨から肉をそぎ取る。

わたしの民の肉を食らい、皮をはぎ取って、骨を打ち砕き、鍋の中のもののように、また大釜の中の肉切れのように、それを切れ切れに裂く。」

- イスラエルの指導者たちが、いかに民を虐げ、搾取していたか。



罪状書き 指導者たちの裁き ミカ3:4

そのため彼らが【主】に叫んでも、主は彼らに答えない。そのとき、主は彼らから顔を隠される*。彼らの行いが悪いからだ。

*神の栄光が去る。

■神のおられない、神の民。

イスラエルにとって最悪のこと!!

→金の子牛事件後、民の必死の訴えは
主の栄光が共に歩んでくださること。



罪状書き 偽預言者たちの罪 ミカ3:5

預言者たちについて、【主】はこう言われる。
「彼らはわたしの民を惑わし、かむ物が齒に
あれば『平和があるように』と叫ぶが、口に
何も与えない者には聖戦を布告する*。」

- 偽預言者は、利益を得られる*者には
甘い言葉をささやき、祝福する。
一方で、自分の利益を害する者には、
神の裁きを宣告する*。



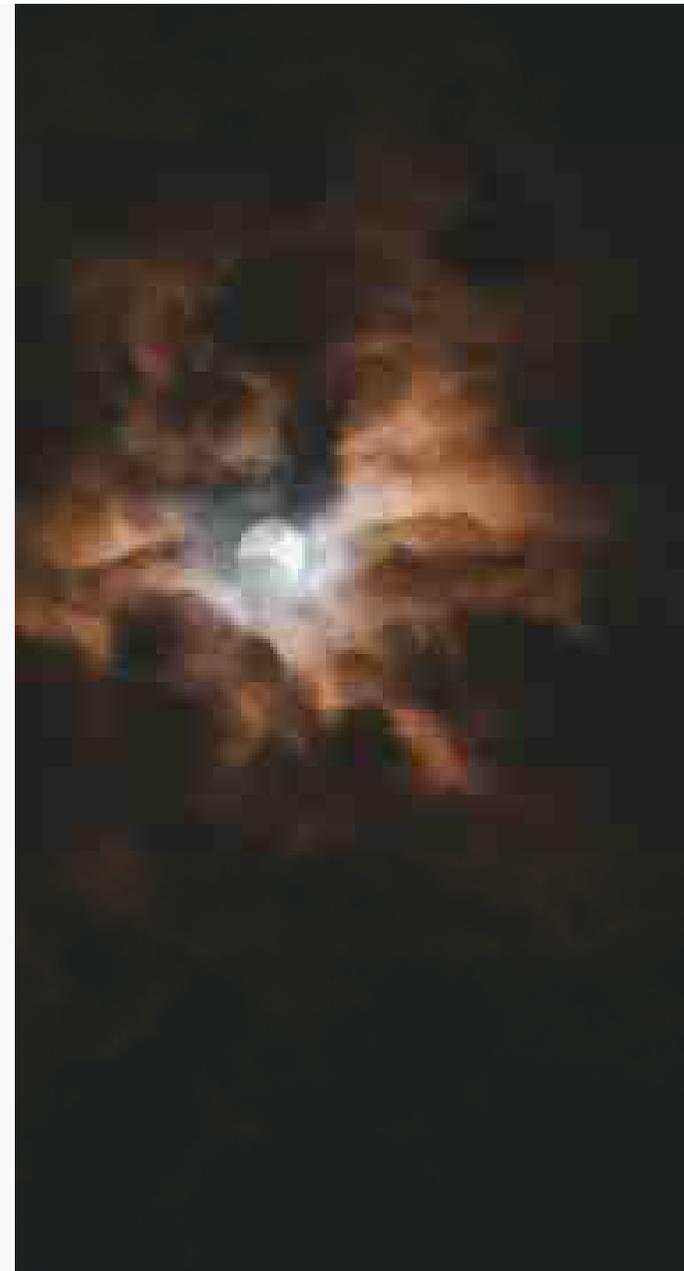
裁きの宣告 失われる神の栄光 ミカ3:6~7

それゆえ、あなたがたには、夜にも幻がなく、暗闇にも占いが無い。太陽も*預言者たちの上に沈み、昼も*彼らの上で暗くなる。

先見者たちは恥を見、占い師たちは屈辱を味わう。彼らはみな、口ひげをおおう。神の答えがないからだ。

*偽預言者たちからは、日の光すら失われる。

■厳粛な神の裁きの座では、雄弁な偽預言者すら沈黙を強いられる。



裁きの宣告 ミカの力の源泉 ミカ3:8

しかし、私には力が満ちている。【主】の霊*
によって、公正と勇気に満ちている。ヤコブに
はその背きを、イスラエルにはその罪を告げる。

■ミカは、聖霊*の力によって恐れることなく、
南王国、北王国、双方の罪を宣告する。

→主の力は、主に従う者に与えられる*。



罪状書き 流血と不正 ミカ3:9~10

これを聞け。ヤコブの家のかしらたち、イスラエルの家の首領たち。あなたがたは公正*を忌み嫌い、あらゆる正しいことを曲げている。流血でシオンを、不正でエルサレムを建てている。

【罪①】 神に対する不正

→神の律法*で建て上げられるべきが、
暴虐と不正で国は根っこから腐敗。

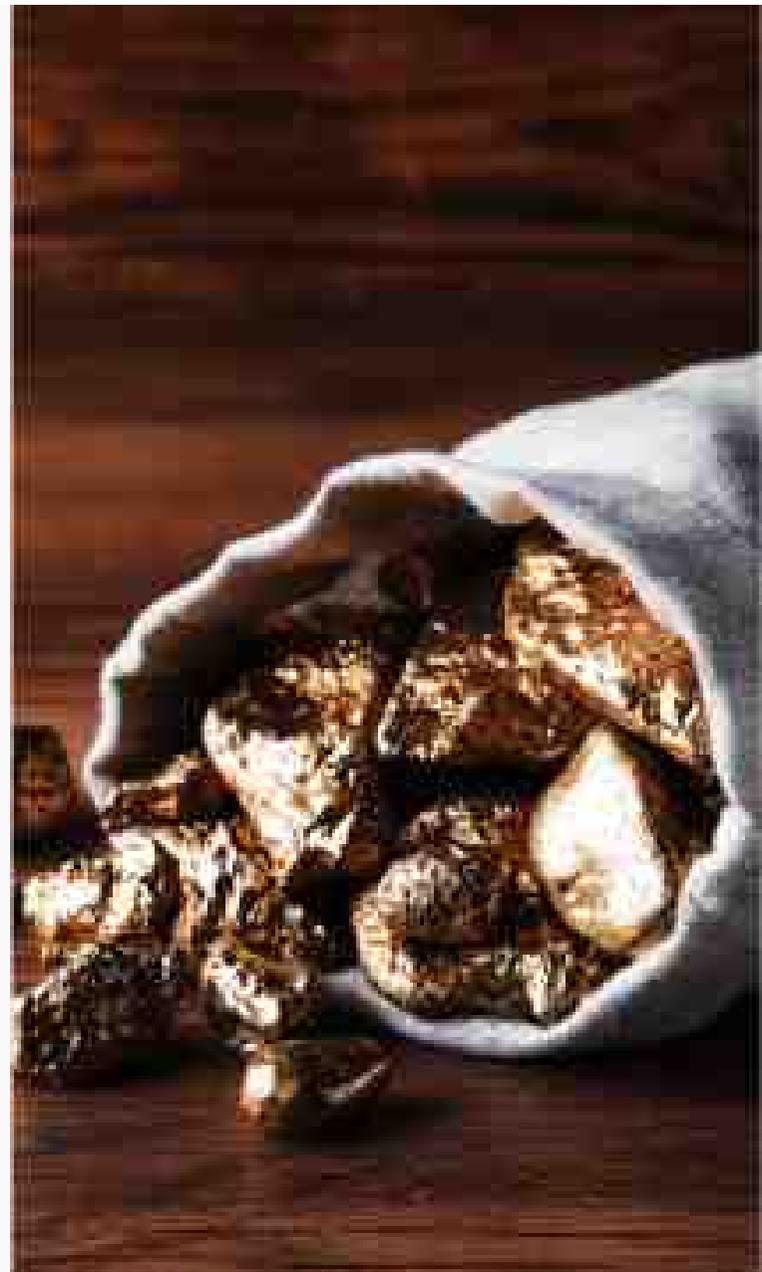


罪状書き 神への偽りと欺き ミカ3:11

そのかしらたちは賄賂を取ってさばき、祭司たちは代金を取って教え、預言者たちは金を取って占いをする。しかもなお、彼らは【主】を当てにして、「【主】は私たちの中におられるではないか。わざわざは私たちの上に及ばない」と言う。

【罪②】 神に対する偽りと欺き

→ 主の権威すら利得のために利用し、
神の命令も都合よく捻じ曲げる。



裁きの宣告 破壊と荒廃 ミカ3:12

それゆえ、あなたがたゆえにシオンは畑のように耕され、エルサレムは瓦礫の山となり、神殿の山は木々におおわれた丘となる。

■エルサレムは徹底的に破壊され、長い間、荒廃する。

- バビロン捕囚
- 中間時代
- ローマによる陥落





II. 大患難時代と神の国

ミカ書 4 章

メギドの丘とイズレエル平原

終末の回復 主の家の山 ミカ4:1

その終わりの日*、【主】の家の山*は、山々のかしらとして堅く立ち、もろもろの丘よりも高くそびえ立つ。そこへもろもろの民が流れて来る。

*メシア的王国・千年王国 *エルサレム

■千年王国においては、

エルサレムが地上も最も高い場所となり、世界中の民が礼拝のために上ってくる。



終末の回復 ヤコブの神の家 ミカ4:2

多くの国々が来て言う。「さあ、【主】の山、ヤコブの神の家*に上ろう。主はご自分の道を私たちに教えてくださる。私たちはその道筋を進もう。」それは、シオンからみおしえが、エルサレムから【主】のことばが出るからだ。

*千年王国におけるエルサレムの神殿

■千年王国の都エルサレムに、

主イエスの言葉を求めて、

世界中から全民族が上ってくる。

(イザヤ2:3)



終末の回復 神の国の平和 ミカ4:3~4

主は多くの民族の間をさばき、遠く離れた強い国々に判決を下す。彼らはその剣を鋤に、その槍を鎌に打ち直す。国は国に向かって剣を上げず、もう戦うことを学ばない。

彼らはみな、それぞれ自分のぶどうの木の下や、いちじくの木の下に座るようになり、彼らを脅かす者はいない。まことに万軍の【主】の御口が告げる。

■ 神の国には、神の完全な平和がある。

(イザヤ2:4)



終末の回復 神の民の歩み ミカ4:5~6

まことに、すべての民族は、それぞれ自分たちの神の名によって歩む。しかし、私たちは、世々限りなく、私たちの神、【主】の御名によって歩む。

「その日—【主】のことば—わたしは足を引きずる者を集め、追いやられた者、また、わたしが苦しめた者を呼び集める。」

- 真実の神である主の御名によって歩む者の道は、永遠に守られる。



終末の回復 王なるメシア ミカ4:7~8

「わたしは足を引きずる者を、残りの者とし、遠くへ移された者を、強い国民とする。

【主】であるわたしが、シオンの山で、今よりとこしえまで、彼らの王となる。

あなたは、羊の群れのやぐら、娘シオンの丘。あなたには、あのかつての主権、娘エルサレムの王国が戻って来る。」

- 人であり神であるメシアが王。大患難時代の大迫害から一転して、イスラエルが、都エルサレムから千年王国を治める。



大患難時代 産みの苦しみ ミカ4:9

今、なぜあなたは大声で叫ぶのか。あなたのうちに王がないのか。あなたの助言者は滅び失せたのか。それで、子を産む女のような激しい痛み*があなたをとらえたのか。

*大患難時代は、産みの苦しみの時代

→イスラエルが民族的回心に至るための



大患難時代 バビロン ミカ4:10

娘シオンよ。子を産む女のように、身もだえして、もがき回れ。今、あなたは町を出て野に宿り、**バビロン***まで行く。そこで、あなたは助け出される。そこで、【主】があなたを敵の手から贖い出される。

■直近に迫ったバビロン捕囚すら、大患難時代の苦難の予型に過ぎない。

→究極のバビロンは、反キリストの都*



大患難時代 ハルマゲドン ミカ4:11~12

今、多くの国々があなたに敵対して集まり*、そして言う。「シオンは汚されるがよい。われわれはこの目でじっとそれを見ていよう」と。

しかし彼らは【主】の御思いを知らず、その御計らいに気づかない。主は、打ち場の麦束のように彼らを集められたのだ。

＊大患難時代の最後の戦い(ハルマゲドン)＊

■反キリスト側の世界中の軍勢が、メギドのあるイスラエル平原に集結。

➔イスラエルせん滅のために攻め上る。



大患難時代 諸国の裁き ミカ4:13

「娘シオン*よ、さあ、脱穀せよ。
わたしが、あなたの角を鉄とし、あなたのひづめを青銅とする。あなたは多くの国民を粉々に砕き、彼らの不正な利得を【主】のために、彼らの財宝を全地の主のために聖絶する。」

■主はイスラエルを器として用いて
諸国民を裁かれる。

➡イスラエルのメシアによる裁きが





III. 救いの約束

ミカ書 5 章

ベツレヘム

迫る裁き 敵の包囲 ミカ5:1

今、軍勢をなす娘よ、勢ぞろいせよ。包囲網が私たちに対して設けられた。彼らは、イスラエルをさばく者の頬を杖で打つ*。

- 約束された大患難の最後の戦いの勝利。
しかし、直近に迫るのは、敗北と滅び*。
 - ➔ アッシリア捕囚。バビロン捕囚
- メシアの到来時にも、苦難がある。
 - ➔ ローマの支配。ヘロデの悪政。



救いの約束 メシア預言 ミカ5:2

「ベツレヘム・エフラテ*よ、あなたはユダの氏族の中で、あまりにも小さい。だが、あなたからわたしのためにイスラエルを治める者*が出る。その出現は昔から、永遠の昔から定まっている。」

*ユダのベツレヘム。ゼブルンの町との区別
エルサレムの南方8 kmにある町。

*メシア

■ヘロデ大王、東方の博士たちは、この預言からメシアの出生地を知った。



救いの約束 王なるメシア ミカ5:3~4

それゆえ、彼らはそのままにしておかれる。
産婦が子を産む時まで*。そのとき、彼の兄弟
のほかの者はイスラエルの子らのもとに帰る。

彼は立って、【主】の力と、**彼**の神、【主】
の御名の威光によって群れを飼う。そして彼
らは安らかに住まう。今や**彼**の威力が、地の
果ての果てまで及ぶからだ。

*メシア再臨までイスラエルの苦難は続く。

■主イエスが、イスラエルの王となり、
エルサレムを中心に世界を治められる。



ヘロデが脅威を
抱いた理由

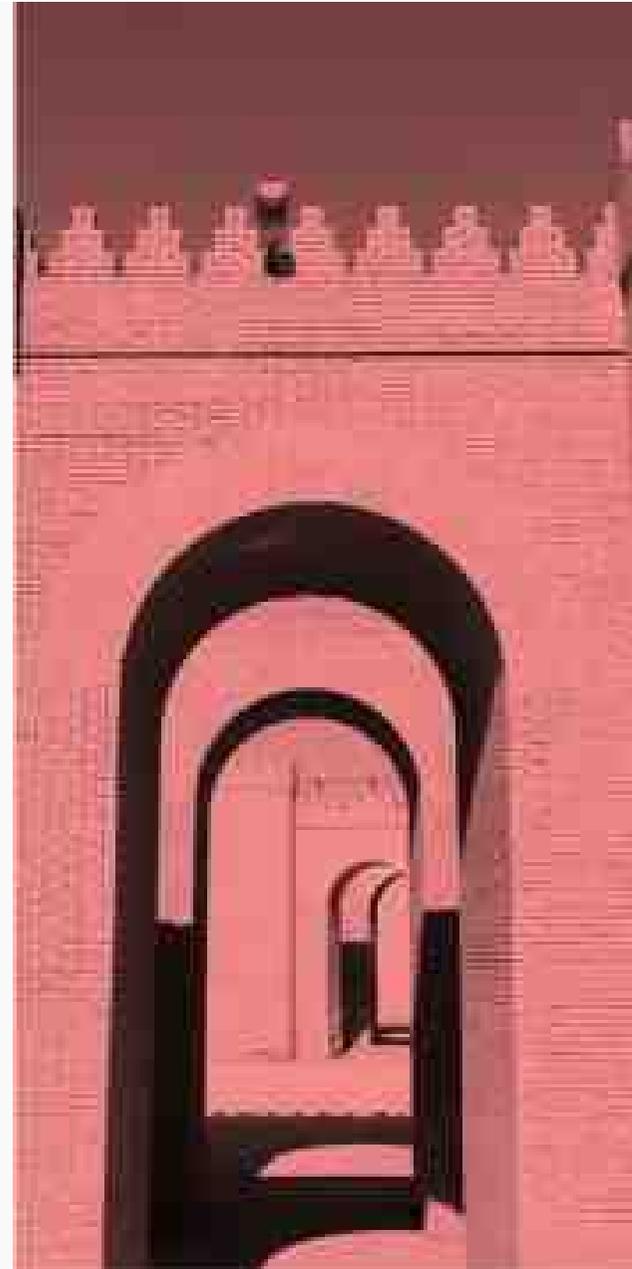
救いの約束 主イエスによる平和 ミカ5:5～6

平和は次のようにして来る。アッシリア*が私たちの国に来て、私たちの宮殿を踏みにじるとき、私たちはこれに対抗して七人の牧者、八人の指導者*を立てる。

彼らはアッシリアの地*を剣で、ニムロデの地*を抜き身の剣で飼いなす。アッシリア*が私たちの国に来て、私たちの領土に踏み込んで来るとき、彼は、私たちをアッシリア*から救い出す。

*反キリストを象徴 …アッシリアは予型。

*イスラエルに力ある多くの指導者が立てられる。



救いの約束 残れる信仰者 ミカ5:7~8

そのとき、ヤコブの残りの者*は、多くの国々の民のただ中で、【主】のもとから降りる露、青草に降り注ぐ夕立*のようだ。彼らは人に望みを置かず、人の子らに期待をかけない。

ヤコブの残りの者は異邦の民の中、多くの国々の民のただ中で、森の獣の中の獅子、羊の群れの中の若い獅子のようだ。通り過ぎるときには、踏みにじり、かみ裂けば、助け出す者はいない。

*民族的回心に至った1/3のイスラエル。

■ただ主に信頼する者に与えられる主の恵みと力

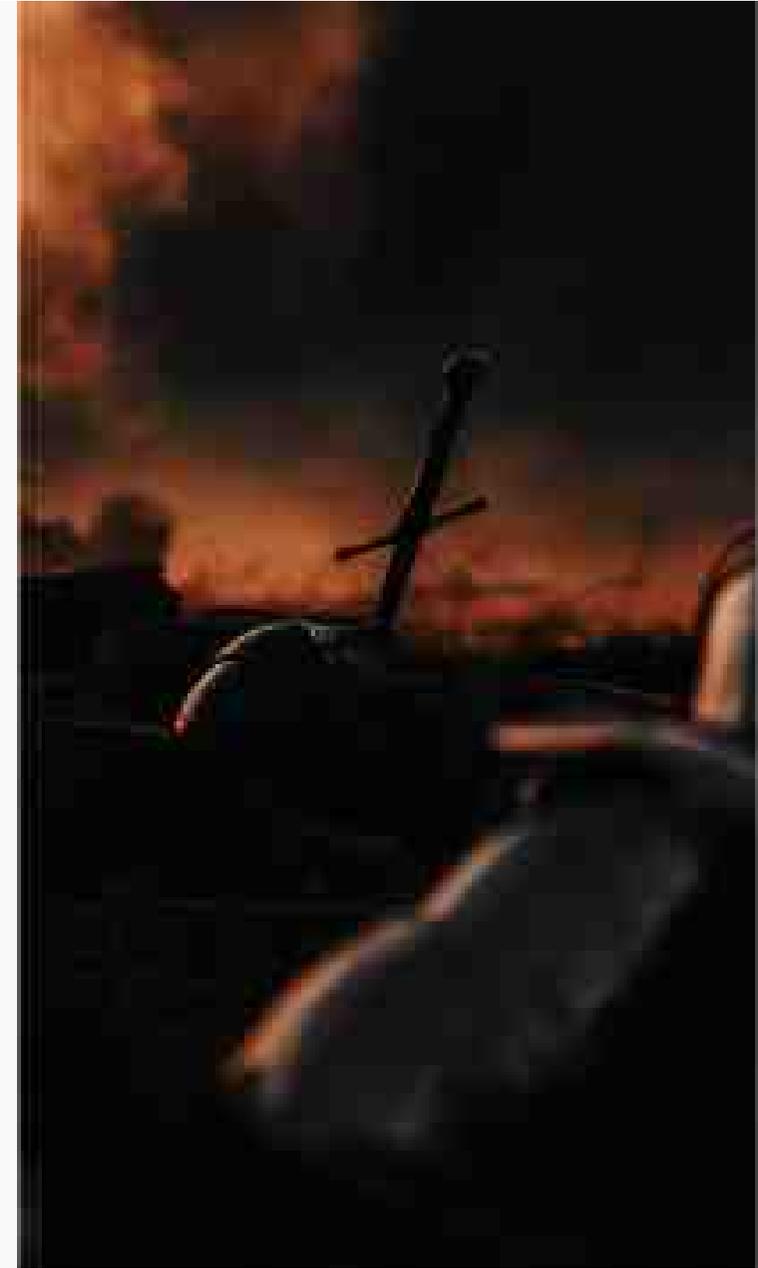


救いの約束 メシアの勝利 ミカ5:9～11

あなた*が敵対する者に向けて御手を上げると、あなた*の敵はみな絶ち滅ぼされる。

*主イエスは、たちまち勝利をおさめられる。

■ 神であり王、裁き主なる再臨の主イエスに
対抗できる力を持つ敵など存在しえない。



大患難時代 神の民への宣告 ミカ5:10~11

「その日—【主】のことば—わたしはあなたのただ中から、あなたの馬を滅ぼし、戦車を打ち壊し、あなたの国の町々を絶ち滅ぼし、要塞をみな破壊する。」

■大患難時代は、第一にイスラエルへの裁き。

→まず体験させられるのは、
反キリストによる迫害、徹底的な敗北。



メギドの要塞

救いの約束 偶像の断絶 ミカ5:12~13

「わたしはあなたの手から呪術者を断ち、占い師をあなたのところから絶やす。

わたしは、あなたのただ中から、刻んだ像と石の柱を断ち切る。あなたはもう、自分の手で造った物を拝まない。」

■大患難時代は、イスラエルのきよめ

→偶像礼拝が徹底して取り除かれる。



救いの約束 諸国の裁き ミカ5:14~15

「わたしは、あなたのアシェラ像をあなたのただ中から根こそぎにし、あなたの町々を滅ぼし尽くす。

わたしは怒りと憤りをもって、わたしに聞き従わなかった国々に復讐する。」

■ 世の終わり・大患難時代の裁きの順番

- ① イスラエルへの裁き
- ② 残れるイスラエルの回心
- ③ 諸民族への裁き





IV. まとめと適用

人と世に期待せず、ただ主に希望を置こう

ベツレヘムの羊飼い

ミカの預言と主イエスの誕生

- 栄光の星を目撃し、メシア誕生を知った東方の博士たちが、生誕から2年後にエルサレムに到着。メシアの居場所を尋ねた。
- 無知なヘロデ大王に、祭司長、律法学者たちが、**ミカ書**から、ベツレヘムにメシアが誕生するという預言を告げた。
- 博士たちがメシアを礼拝し、去った後、ヘロデの送った兵士が、ベツレヘムを襲い、二歳以下の男児を虐殺した。
→ 幼子イエスは、ヨハネに連れられ、間一髪エジプトに逃れた。

主の預言通り、メシアは、ダビデの子孫から誕生された

残れるイスラエルに学ぶ信仰者の態度

「そのとき、ヤコブの残りの者*は、多くの国々の民のただ中で、
【主】のもとから降りる露、青草に降り注ぐ夕立のようだ。
彼らは人に望みを置かず、人の子らに期待をかけない。ミカ5:7」

*大患難を生き延び、回心に至った1/3のイスラエル。

- 裏切られた、落胆した… → 人に望みを置いていたということ。
信仰者が悔い改めるべきは、人に期待を寄せた、己の態度。
→ 偶像とは、人の期待、願望が生み出し、具現化されたもの。
- “がっかりする” それは、私自身の信仰の稚拙さ、未熟さの証明だ。
世に誉れを求め、人に期待していないか？ 常に問われている。

“人に期待しない” 信仰者の歩みとは？

- 責任を負わされているのは、“**私自身の主への応答**”
自分の欠けを、人に補ってもらおうとしていないだろうか？
- キリストの体なる教会の主権は、すべて、主イエスにある。
奉仕者の采配も、主ご自身がなされること。
私にできるのは、“**与えられた己の使命を尽くすこと**” それだけだ。
- 人の期待ではなく、“**主の期待に応えること**” に、全精力を尽くそう。
主にささげた一人一人を、主が最善のポジションで用いてくださる。
例) リトリートツアーで身をもって教えられたこと
与えられた役割は個々に違う。不思議と一致して用いられる。

★ ただ、メシアに期待し、信頼して歩もう ★

■ ミカの預言通り、メシアは誕生され、贖いの業を成し遂げられた。預言通り、王、主として来られ、世を裁き、神の国を建てられる。

■ 人と世に一切の期待をしない。それは滅びゆくものに過ぎない。全身全霊で主に期待するなら、私の足を主が確かに支えられる。

■ 富、誉れ、こだわり…。手放すべきものを、惜しまず手放そう。ただ主の約束だけを、堅く握りしめていればいい。世のものを手放していく。信仰者の歩みは一方通行。逆走するな。

■ 世の終わりが近づくほど、一人一人がますます問われていくだろう。神に所有された者として、神にすべてを満たされていこう。

御使いが告げたメシア誕生

ルカ福音書2章9～12節

すると、主の使いが彼らのところに来て、**主の栄光**が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。

御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。見なさい。私は、この民全体に与えられる、大きな喜びを告げ知らせます。今日ダビデの町で、あなたがたのために**救い主**がお生まれになりました。この方こそ**主キリスト**です。

あなたがたは、布にくるまって飼葉桶に寝ているみどりごを見つけます。それが、あなたがたのためのしるしです。」

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、^{そむ} 罪を^{つみ}重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ} 神のみ子^こイエス・キリストが、
^{つみ} ^{あがな} ^{じゅうじか} ^し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

^{はか} ^{ほうむ}

②墓に葬られ、

^{みつかめ} ^{ふっかつ}

③三日目に復活した^{しん}こと、を信じます。

^{よげん} ^{どお} ^こ ^{すく} ^{みわざ} ^な ^と
ミカの預言通り、メシアは来られ、救いの御業を成し遂げられました。

「ただわたしに^{きたい}期待しなさい」と、主よ、あなたは^{しゅ}告げられます。

^よ ^{ひと} ^{きたい} ^{いま} ^{みまえ} ^{てばな}
世と人への期待を、今、あなたの御前で手放します。

^{さいりん} ^{しゅ} ^ま ^{のぞ} ^{しんらい} ^{もの} ^か
ただ、再臨の主イエスを待ち望み、信頼する者と変えてください。

^{しゅ} ^な ^{いの}
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」